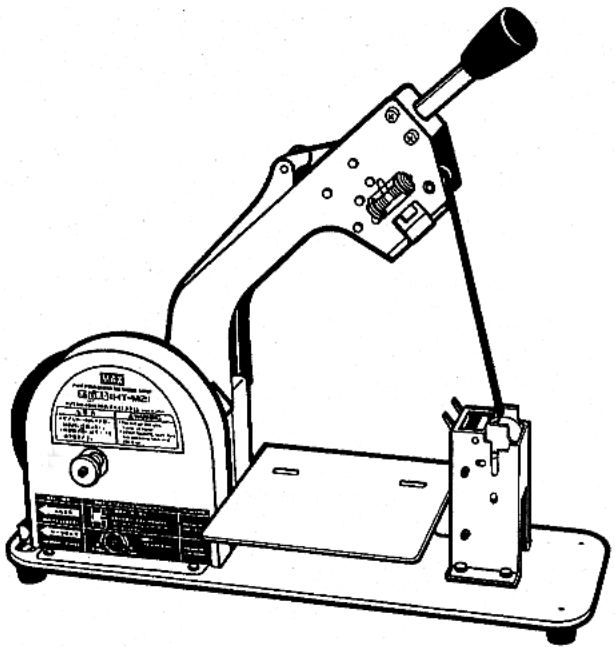
マックス野菜結束機

おびまる

《HT-M2》

取扱説明書



⚠ 警 告

- ●使用前に必ず取扱説明書を読む。
- ●使用前に必ず正常に作動するか確認する。正常に作動しない場合は絶対に使用しない。
- ●指定の消耗品を必ず使用する。
- ●ギアカバーの中に指を絶対に入れない。
- ●アームユニットL・Rとサポート板ユニットの間に手を絶対に入れない。
- ●アームユニット頭部とスタンドユニット上部の間に手を絶対に入れない。
- ●アームユニット頭部に指を絶対に入れない。
- ●本機を絶対に改造しない。
- ●異常を感じたら絶対に使用しない。

●この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管してください。
●本機の仕様は機能向上ため、予告なしに変更することがあります。

MAX®

このたびは、マックス野菜結束機おびまる〈HT-M2〉をお買い上げいただきましてありがとうございます。本機の取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

⚠ 警告：この表示は、取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。

⚠ 注意：この表示は、取扱いを誤った場合に、使用者が損傷を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。
また、取扱いを誤った場合には、機械本来の性能を発揮しないばかりでなく本機の損傷につながる事が想定される場合を表しています。

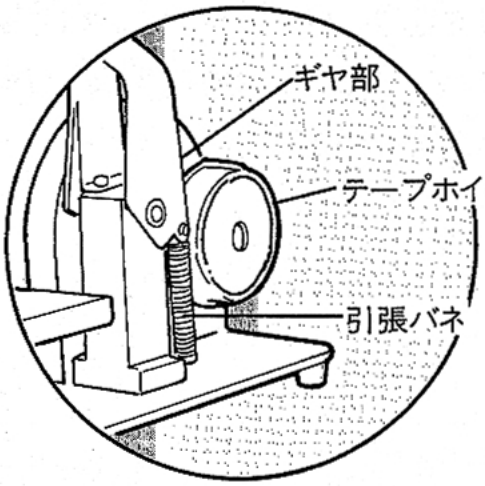
目　次

1. 各部の名称 ……1
2. 安全作業のために ……2
3. 仕様、付属品及び別売品 ……5
4. 組立手順 ……6
5. ご使用の前に ……7
6. 使用方法 ……9
7. ギザ刃の交換 ……14
8. 性能を維持するために ……15
9. 分解見取図・部品表 ……16

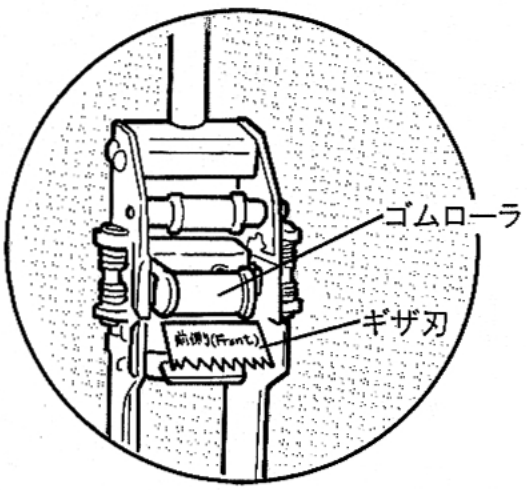
全国販売拠点、サービス拠点一覧

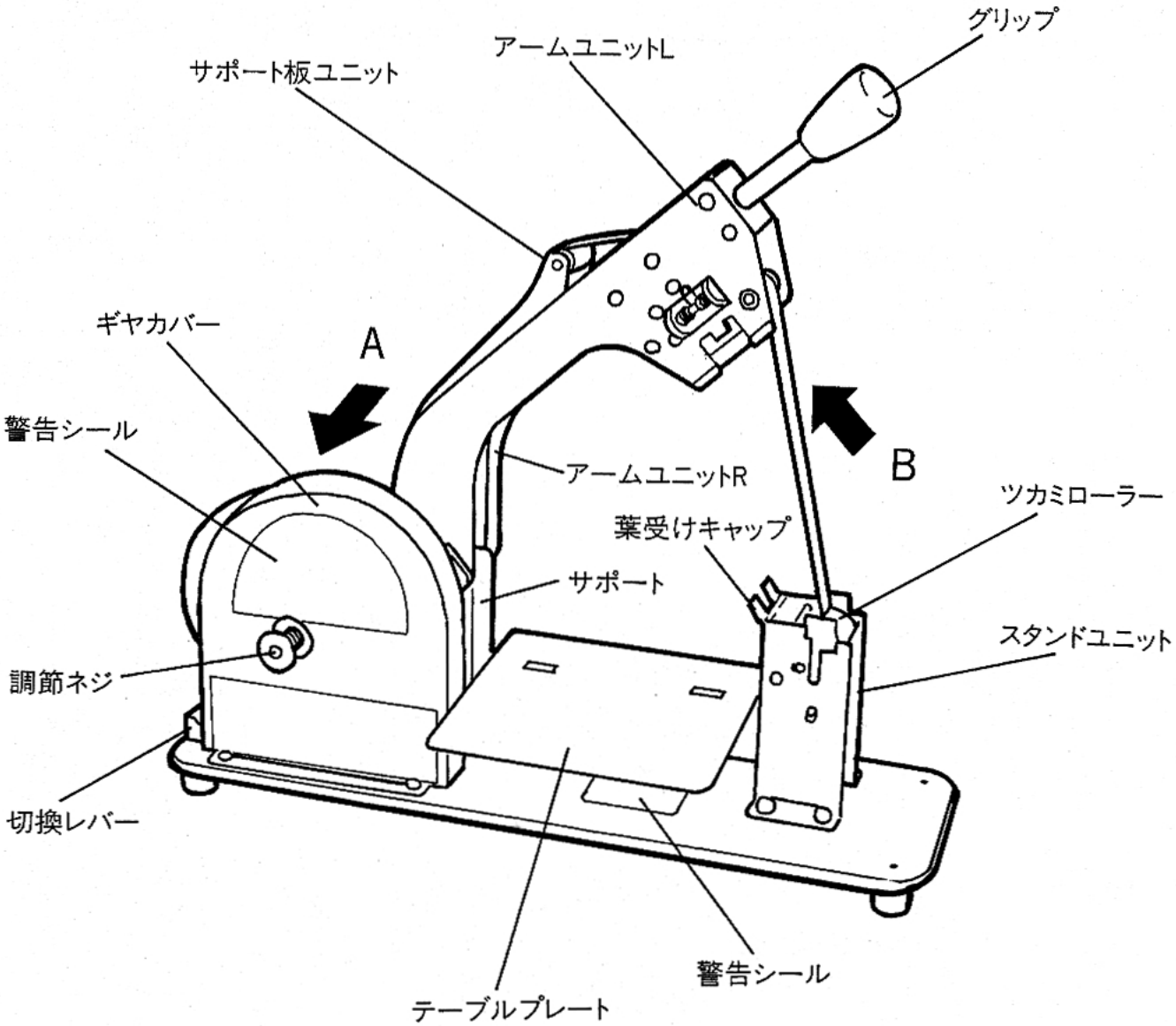
1 各部の名称

A 機械右後方



B アームユニット頭部





2 ⚠警 告 安全作業のために

本機は、野菜、花卉等をテープで結束する事を目的とした機械です。指定以外の用途、使用方法は重大な事故につながる恐れがあります。この取扱説明書の記載事項を厳守してください。作業関係者以外、特に子供は作業場所に近づけないで下さい。又、本機に触らせないでください。

作業前

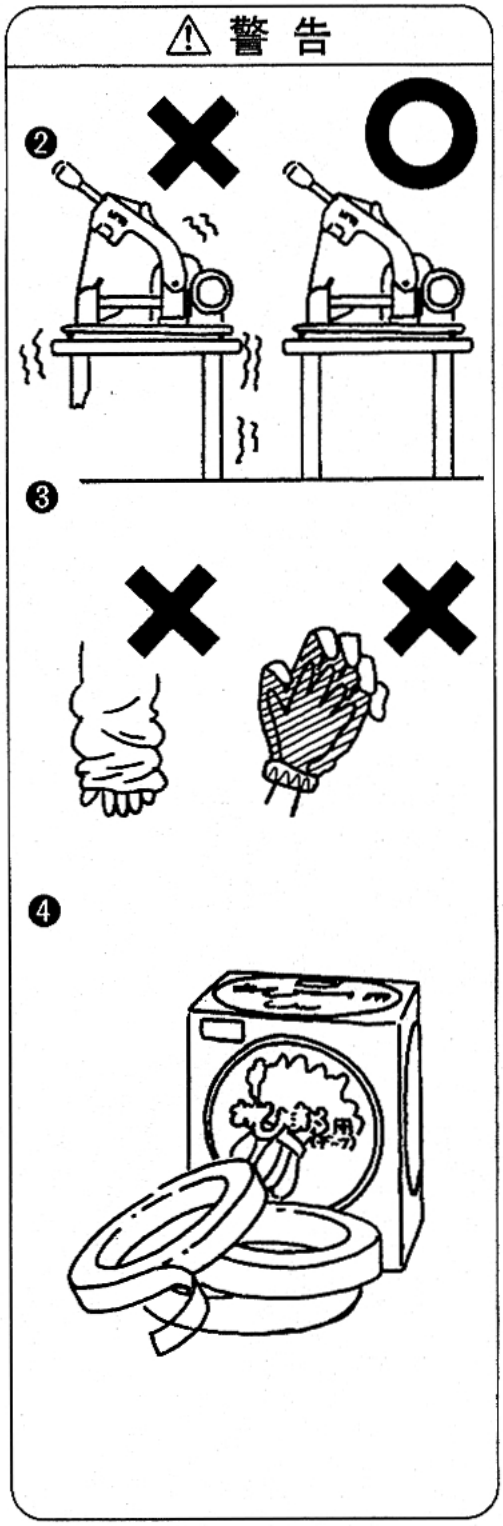
❶組立は、必ず説明書通りの手順で行う。
（6ページ参照）

❷安定した台に必ず設置する。
本機を設置する作業台の安定が悪いと倒れたりして危険ですので、安定した台を使用してください。

❸作業環境に応じた服を必ず着用する。
作業のじゃまになったり、機械にはさまれたりすることのないような服、手袋等を着用してください。

❹指定の消耗品を必ず使用する。
指定されたテープと異なるものを使用すると本機の故障や事故の原因となりますので、必ず指定のテープをご使用ください。（5ページ参照）

❺使用前に必ず正常に作動するか確認する。正常に作動しない場合は絶対に使用しない。
使用前にタオルなどで本機が正常に作動するか確認してください。正常に作動しなかったり、結束できない場合は、お買い求めの販売店又はマックスサービス㈱に点検・修理に出してください。



2 ⚠警 告 | 安全作業のために

作業中

❶ギヤカバーの中に絶対に指を入れない。

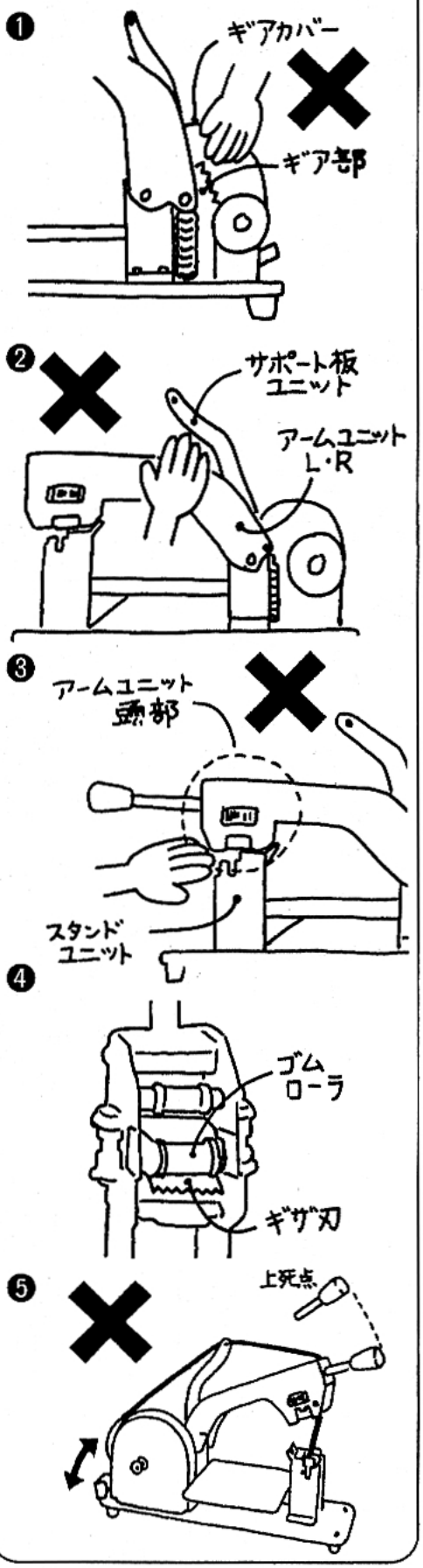
❷アームユニットL・Rとサポート板ユニットの間に絶対に手を入れない。

❸アームユニット頭部とスタンドユニット上部の間に絶対に手を入れない。

❹アームユニット頭部に指を絶対に入れない。
アームユニット頭部にはギザ刃があり危険ですので、指を絶対に入れたり、押し当てたりしないでください。

❺結束中にグリップを完全にもどさないで切換レバーを上下させない。
本機に無理が生じ、締付力不足の原因や故障の原因となります。

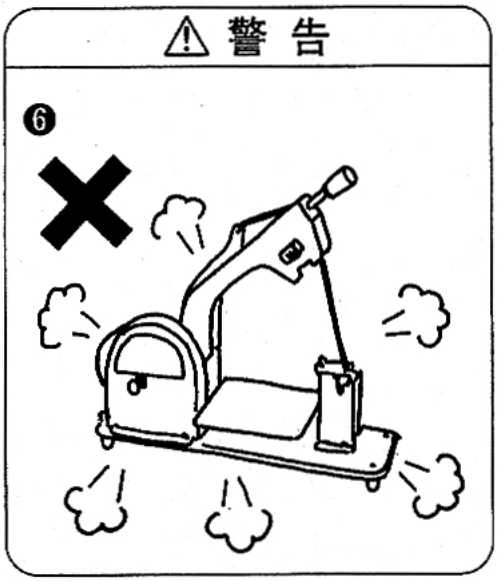
⚠警 告



2 ⚠警 告 安全作業のために

❻異常を感じたら絶対に使用しない。

作業中に本機の調子が悪かったり異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。異常のある場合はお買い求めの販売店又はマックスサービス㈱に点検・修理に出してください。



作業後

❶本機を必ず清浄する。

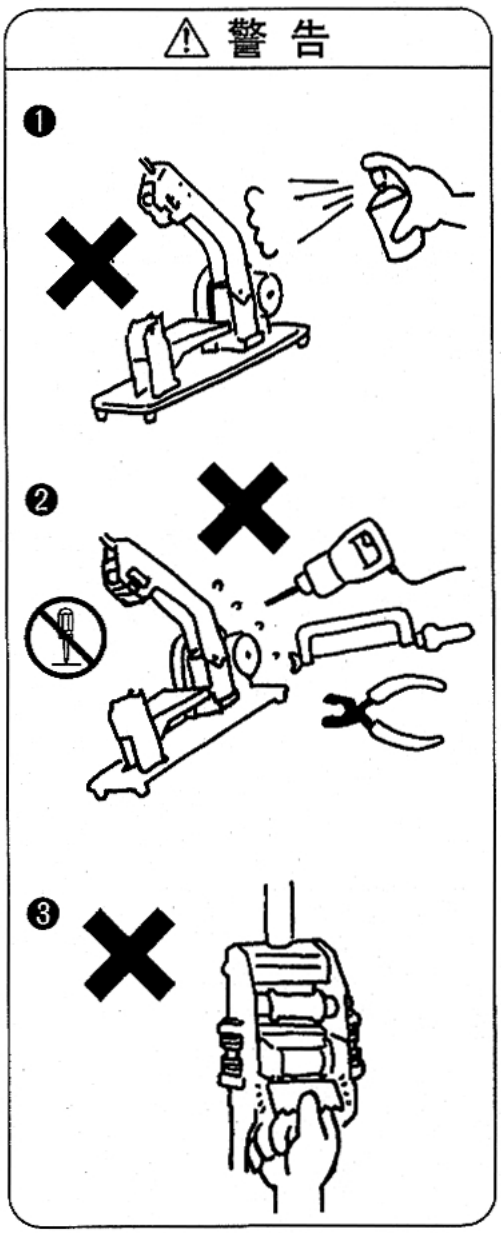
本機の性能を維持するため、「8.性能を維持するために」の注油の項の手順に従って、時々注油してください。尚、使用される油につきましては、食品機械用油をご使用ください。

❷本機を絶対に改造しない。

本機を改造すると、本来の性能が発揮できないばかりでなく安全性が損なわれますので、絶対に行わないでください。

❸ギザ刃の交換には必ずヤットコを使用する。

交換についてはヤットコを使用し、充分に注意をして行なってください。



3 仕様、付属品及び別売品

商品名	マックス野菜結束機おびまる HT-M2
商品記号	HT-M2
寸法	長さ457×巾205×高さ460mm
質量	7kg
使用テープ巾	12mm、15mm、20mm、24mm、30mm
使用テープ	TP-129、TP-159、TP-209、TP-249(特注)、TP-309(特注)
結束範囲	高さ140×長さ170mm（最大） テーブル及びテーブルプレートにて結束範囲調整可能
引締方法	ギヤ回転方式
スペア部品	テープガイドローラ（12mm、15mm用） 1ケ
付属品	ヤットコ1本
別売品	テープガイドローラ（24mm用、30mm用）

※梱包ケースの中には下記の部品が入っていますので開梱しましたら確認してください。

本体……1
サポート板ユニット……1
テーブル（テーブルプレートとセットになっています）……1
⊕ナベ小ネジ5×10……4
テープ案内板B……1
テープガイドローラB（テープ巾12mm、15mm用）……1
ヤットコ……1

4 組立手順

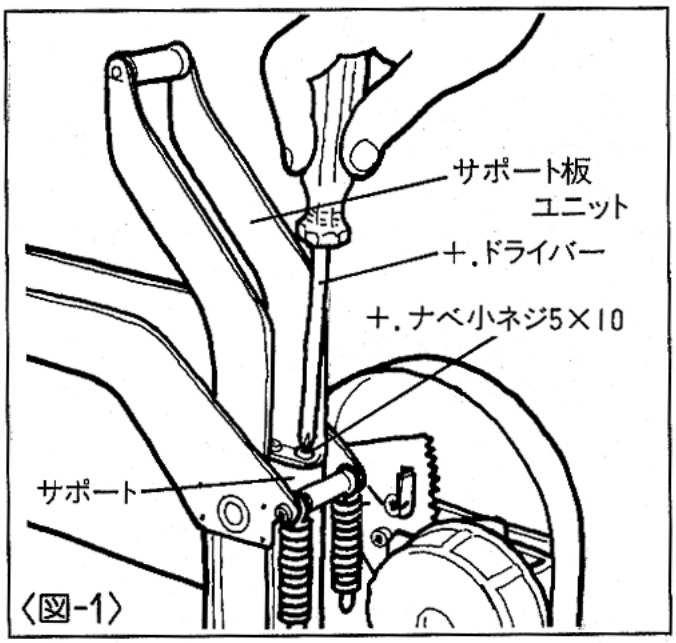
⚠ 警 告

●組立は分解見取図を参照し、必ず説明どおりの組立を行なう。

※分解見取図は16ページにあります。

【サポート板ユニットの取付け】

サポート板ユニットを図の向きにしてサポートの上にのせ、サポート板ユニットの穴とサポートの穴をあわせ⊕ナベ小ネジを使い、⊕ドライバーで４ケ所をしっかり締め付けます。〈図-1〉

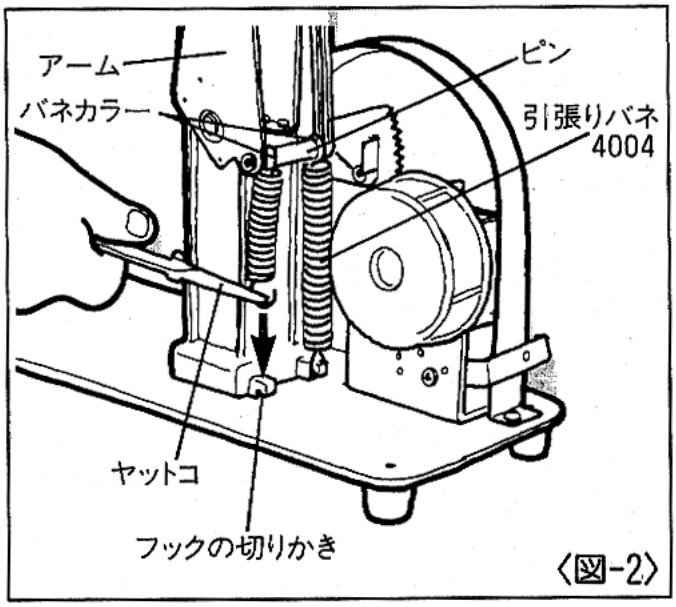


〈図-1〉

【引張りバネの取付け】

アーム後方に付いている２本の引張りバネ4004を付属のヤットコを使い、フックの切りかきに引掛けます。〈図-2〉

※バネを引掛ける時、グリップをいっぱいまで押し上げてアームユニットを垂直な状態にすると、スムースに引掛けられます。バネカラーからバネがはずれている場合はバネのフックをバネカラーにかけてください。



〈図-2〉

5 ご使用の前に

⚠ 警 告

●アームユニット頭部に指を絶対に入れない。

⚠ 注 意

●結束の際、グリップは静かにおろす。
●ギヤカバー内のギヤ部には絶対に注油しない。
故障の原因となります。（注油については「８.性能を維持するために」参照）
●作業終了時にはテープを必ず巻き取る。
●作業終了時には必ず本機を清掃する。

本機はテープ巾20㎜用にセットしてありますので、テープ巾20㎜をご使用になる場合にはそのままでお使いください。
それ以外のテープの巾をご使用になる時は、下記の要領でテープガイドローラの交換とテープ案内板の交換をお願いいたします。

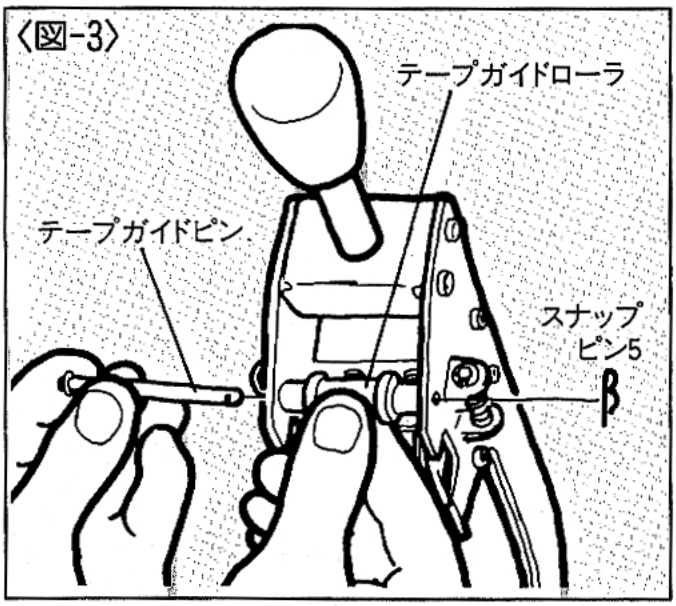
【テープガイドローラの交換】

スナップピンを取りはずし、テープガイドピンを抜き取るとテープガイドローラがはずれます。お使いになるテープガイドローラを入れ、確実にセットします。 〈図-3〉

〈テープ巾12㎜、15㎜使用時〉
付属のテープガイドローラBに交換してください。

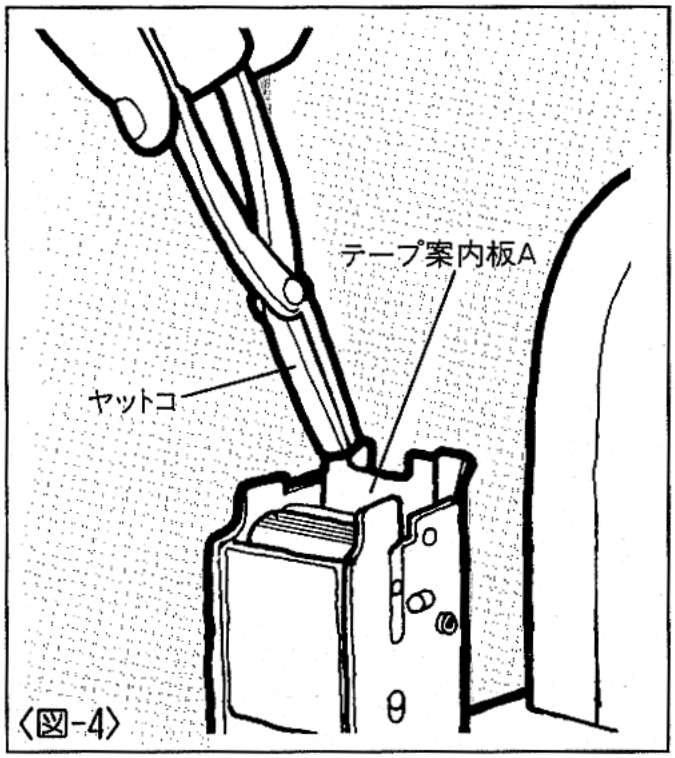
〈テープ巾24㎜、30㎜使用時〉
特注テープ（巾24㎜、30㎜）用のテープガイドローラは、別売となっておりますので、お買い求めの販売店でご購入ください。

〈図-3〉

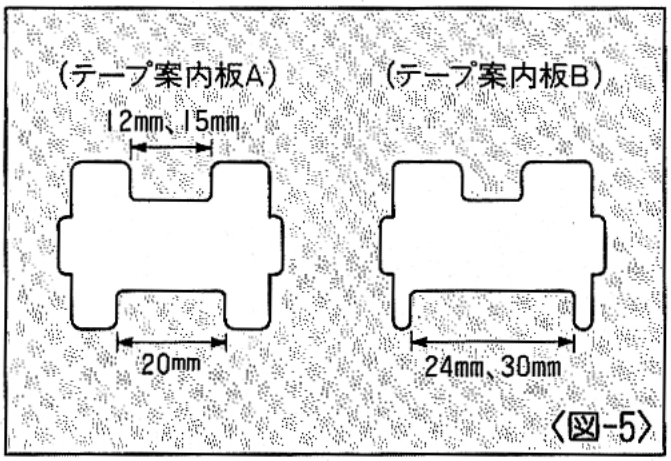


【テープ案内板の交換】

使用するテープの巾にあわせてテープ案内板を交換してください。交換はスタンドに差し込んである案内板Ａをヤットコで抜き取り、ご使用になる案内板をスタンドに差し込みます。　〈図-4〉〈図-5〉



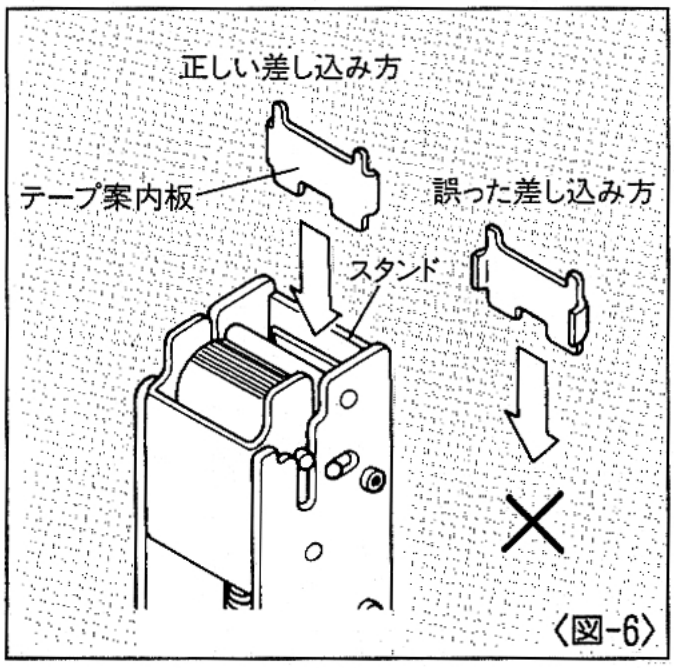
〈図-4〉



〈図-5〉

【テープ案内板の差し込み方】

テープ案内板を差し込む際、折り曲げ方向をよく確かめ、案内板とスタンドとの間にすき間ができるように図の向きに差し込んでください。案内板の上面がスタンド上面と面一になる位置まで平行に押し込んでください。　〈図-6〉



〈図-6〉

6 使用方法

(1)準備

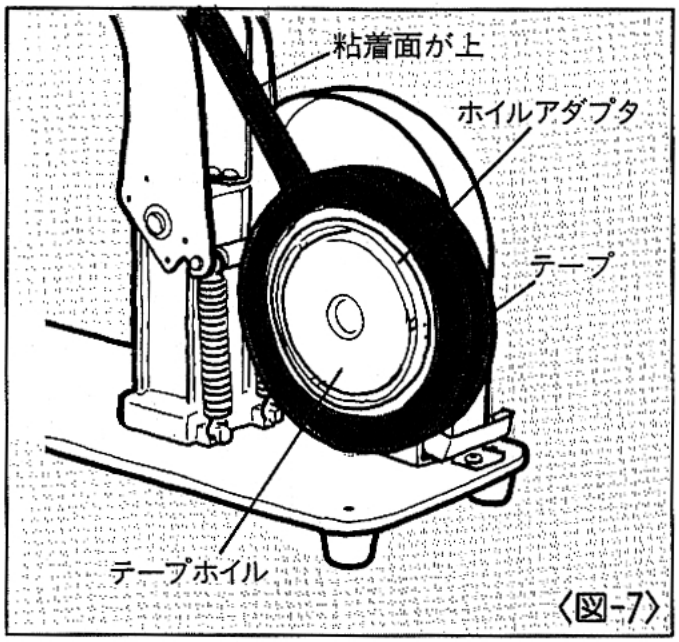
⚠ 警 告

●アームユニット頭部とスタンドユニット上部の間に絶対に手を入れない。

【テープの入れ方】

★テープ紙管90㎜を使用する場合

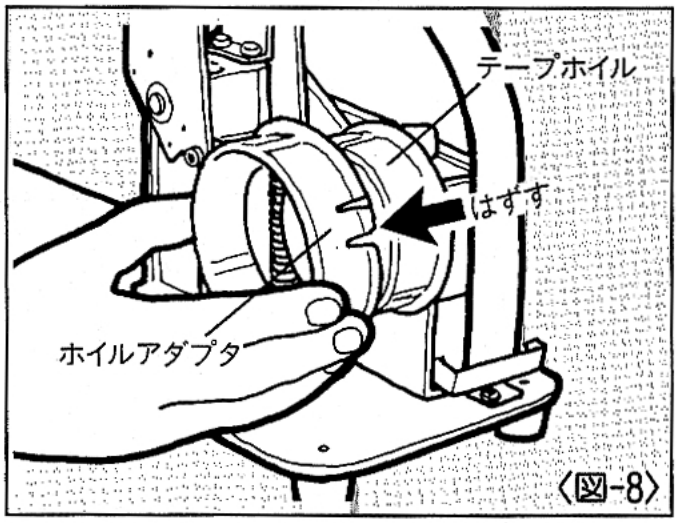
テープを引き出した時、粘着面が上になるようにしてテープをホイルアダプタの一番奥までいれます。 〈図-7〉



〈図-7〉

★テープ紙管75㎜を使用する場合

ホイルアダプタをはずし、粘着面が上になるようにしてテープをテープホイルの一番奥まで入れます。 〈図-8〉

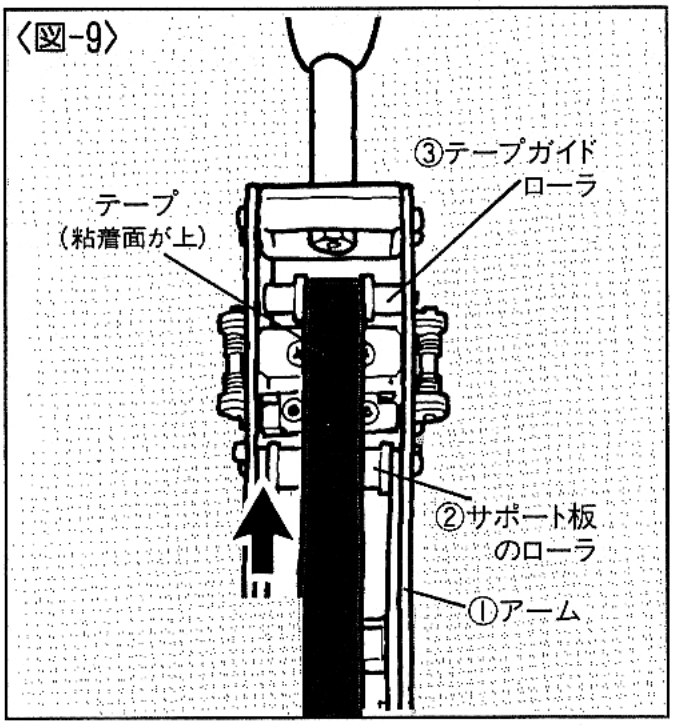


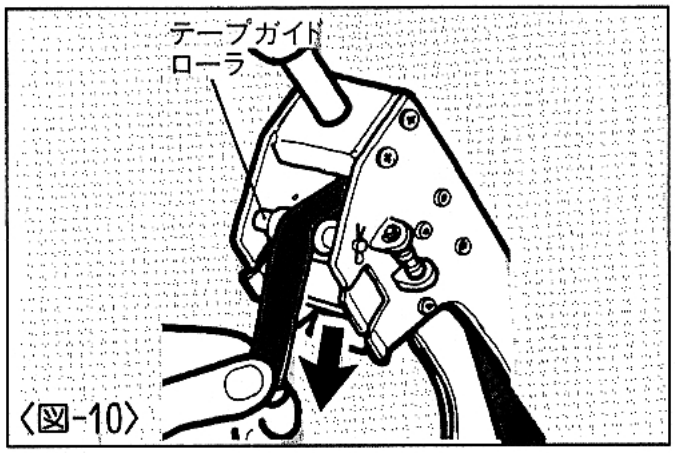
〈図-8〉

【テープの通し方】

❶テープの先端を持ち、①アームの間、②サポート板上のローラ、③テープガイドローラの中を通し、引き出します。

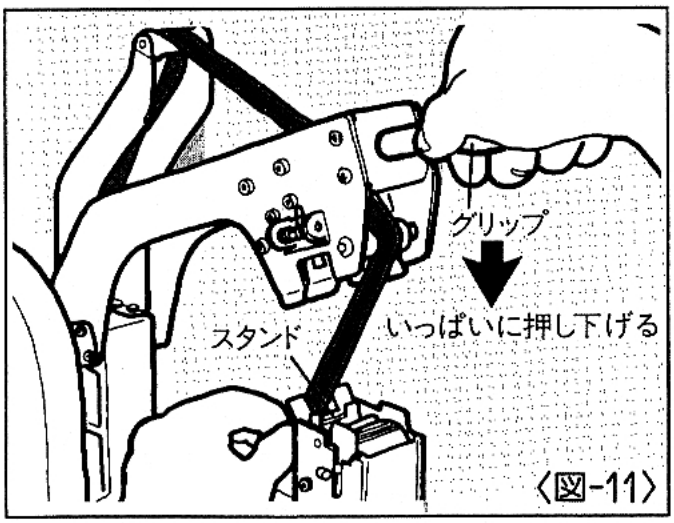
〈図-9〉〈図-10〉





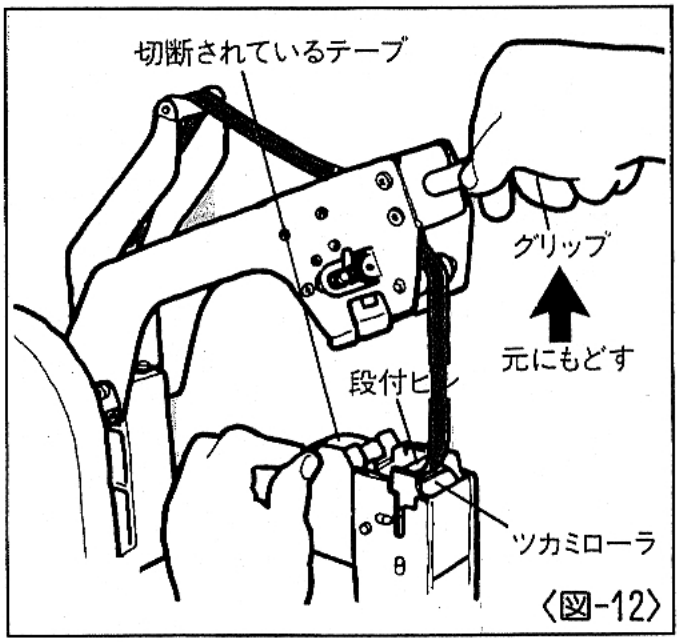
❷手に持ったテープの先端をスタンドの内側に入れ、テープをはなさないようにしてグリップをいっぱいに押し下げます。

〈図-11〉



❸グリップを元にもどすとテープはツカミローラと段付ピンの間にはさみ込まれます。なお、左手で持っているテープは切断されますので、取り除いてください。
〈図-12〉

※万一テープがはさみ込まれない場合には、再度❷の動作をくり返し行ってください。



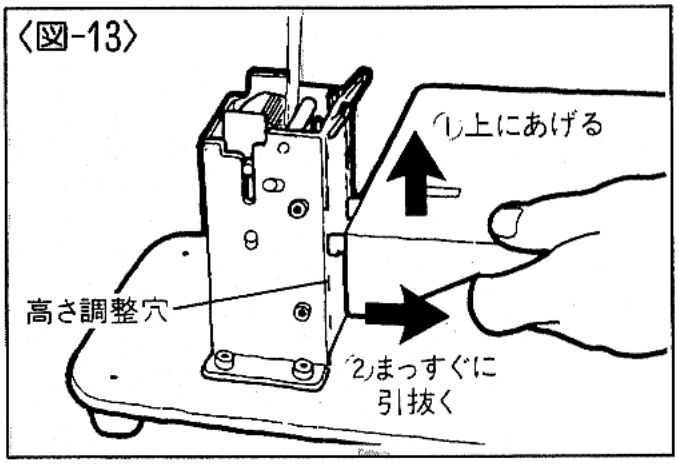
〈図-12〉

【テーブルの高さ調整】

本機のテーブルは上から２番目の穴にセットしてありますが、結束物の大きさにより３段階に調整できます。

テーブルを上に持ち上げてはずし、ご希望の高さ調整穴に入れます。 〈図-13〉

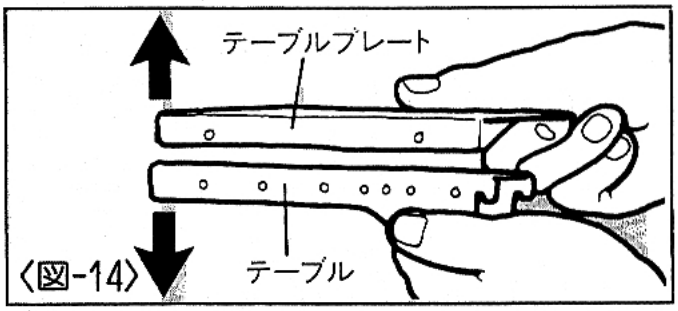
〈図-13〉



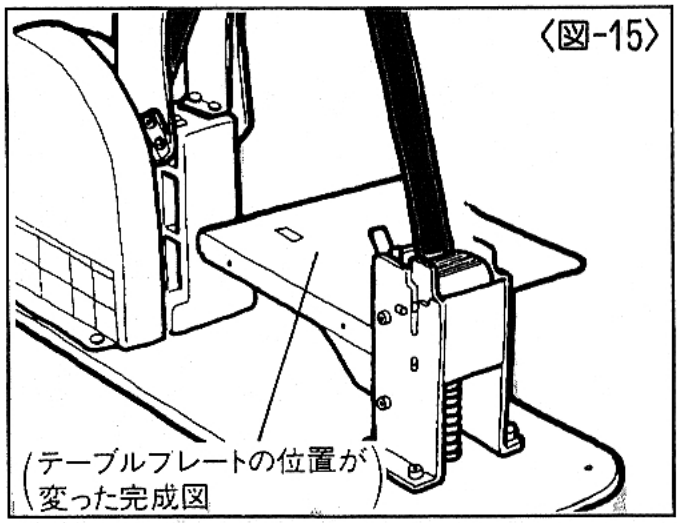
【テーブルプレートの使い方】

本機のテーブルプレートは、結束物の状況にあわせ、プレートの方向を変えてご使用になれます。

テーブルプレートとテーブルを図のようにはずし、テーブルプレートの方向を変えてテーブルに組込みます。 〈図-14〉〈図-15〉



〈図-14〉



〈図-15〉

(2)結束

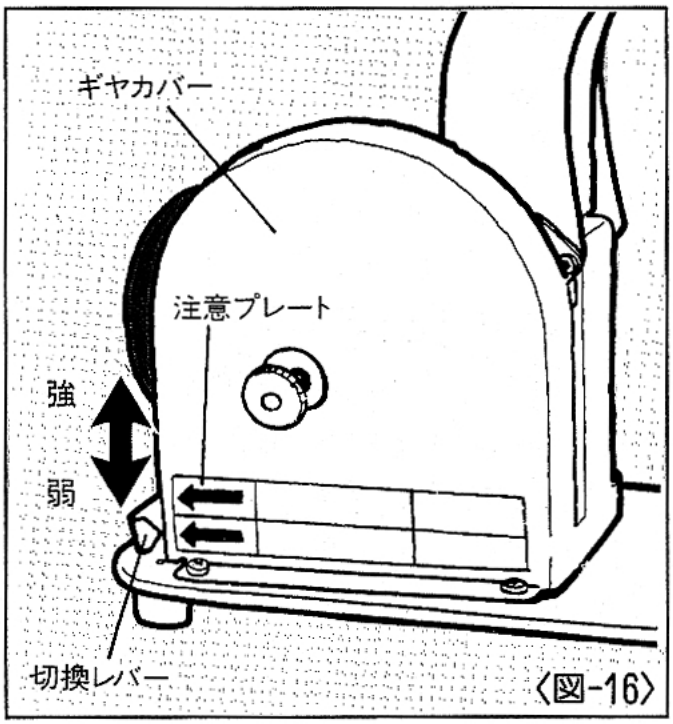
⚠ 警 告

●ギヤカバーの中に絶対に手を入れない。
●アームユニットL・Rとサポート板ユニットの間に絶対に手を入れない。
●アームユニット頭部とスタンドユニット上部の間に絶対に手を入れない。

【締付切換レバーのセット】

★ほうれん草、こまつ菜等軟弱野菜をやわらかく結束したい場合は、
ギヤカバー後方の切換レバーの矢印を注意プレートの矢印に合うところまで下げます。〈図-16〉

★アスパラ、カブ、花卉等をきつく結束したい場合は、
ギヤカバー後方の切換レバーの矢印を注意プレートの矢印に合うところまで上げます。テープホイルがストップし、強力締めができます。〈図-16〉



〈図-16〉

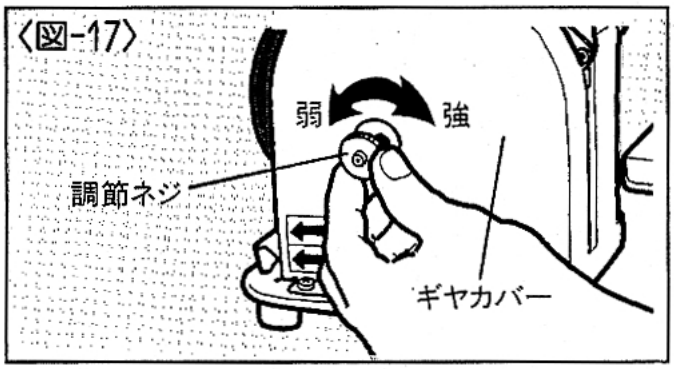
⚠ 警 告

●結束中グリップを完全にもどさないで切換レバーを上下させない。
本機に無理が生じ、締付力不足の原因となります。

【テープ引締力の調整】

結束物の引締がゆるかったり、きつかったりした場合は、調整ネジで調整してください。
ギヤカバーについている調整ネジは右へ回すと張りが強くなり、左へ回すと張りが弱くなります。〈図-17〉

※強締めの場合には、調整ネジでの引締力調整はできません。調整ネジは中のピニオン軸と面一になるようにしてください。

〈図-17〉


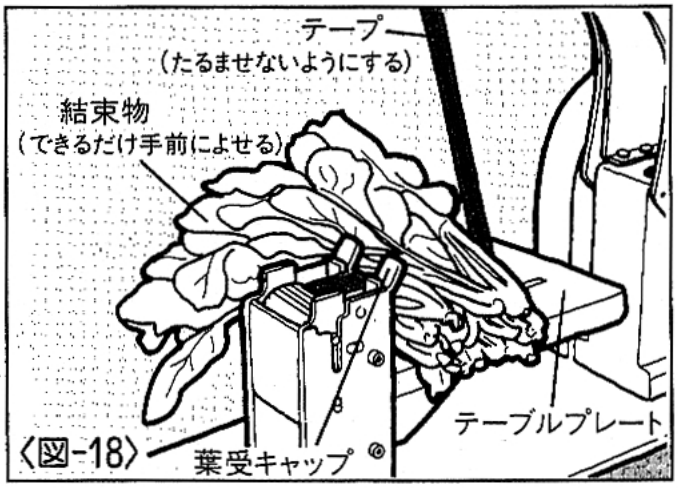
【結束物の入れ方】

⚠ 注 意

●結束物を入れる時、結束物の高さが必ず葉受けキャップの下になるように置く。
葉受けキャップより上になりますと結束物にキズが付きます。

●テープをたるませないようにして奥まで差し込まず、できるだけ手前に寄せる。
テープをたるませると結束力が弱まり、しっかり結束されません。

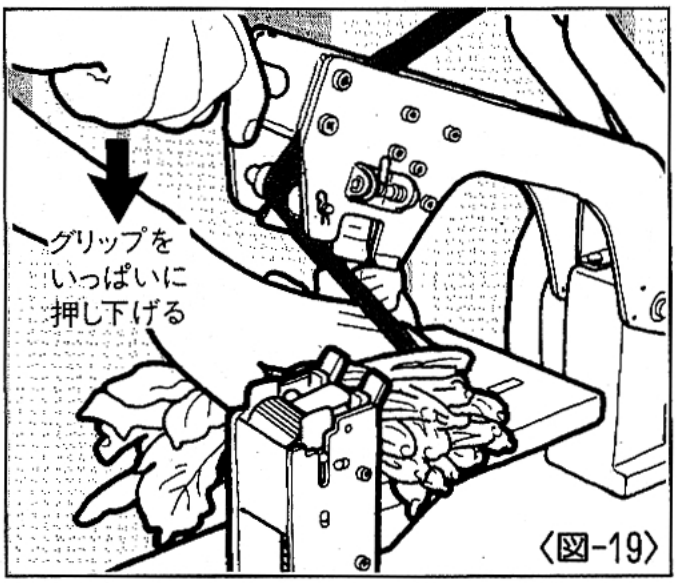
結束物を図のようにテーププレートの上に乗せます。 〈図-18〉



〈図-18〉

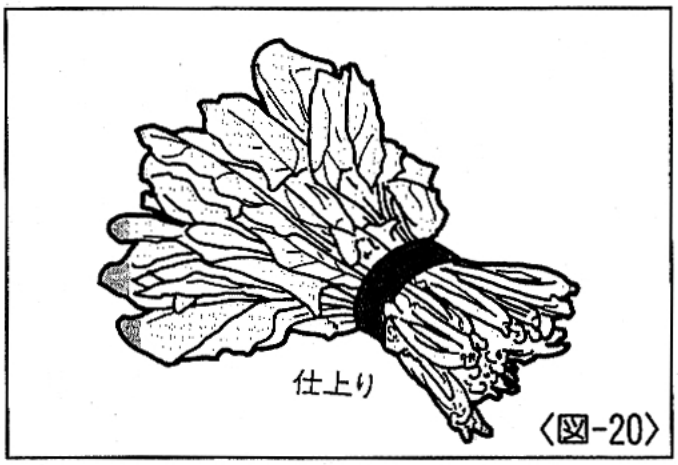
【結束】

❶位置が決まったらグリップを一杯に押し下げてください。テープの粘着面どうしがくっつき結束されます。 〈図-19〉



〈図-19〉

❷グリップを元にもどし結束物を抜き取ると結束完了です。 〈図-20〉



〈図-20〉

7 ギザ刃の交換

⚠ 警 告

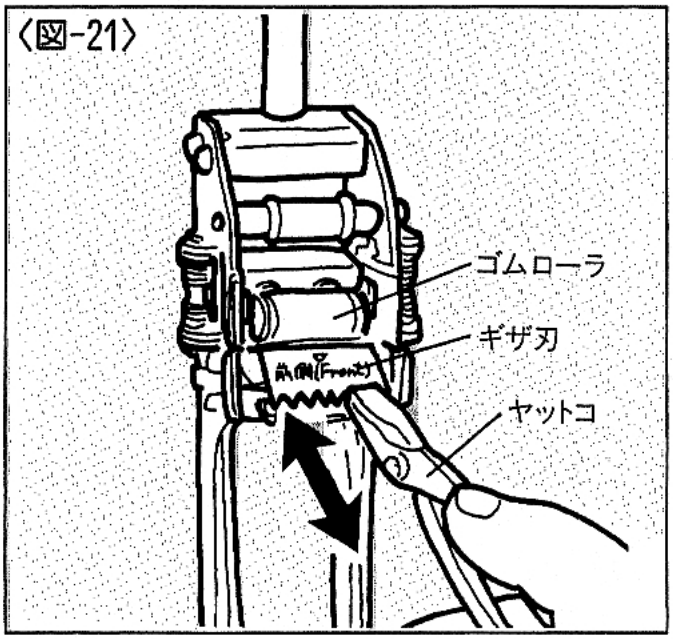
●ギザ刃の交換には、必ずヤットコを使用する。
交換についてはヤットコを使用し、充分に注意をして行なってください。

テープの切断面がきたなくなったり、切断しなくなりましたら新しいキザ刃と交換してください。

❶テープを抜き取り、グリップとベースを持ってギザ刃がよく見える位置にします。

❷ギザ刃を圧着板とゴムローラの間よりヤットコで抜き取り、新しいギザ刃の刃先をキズ付けないようにまっすぐつき当りまで押し込みます。その際、キザ刃の〈前側(Front)〉刻印が見えるようにして押し込みます。 〈図-21〉

〈図-21〉



⚠ 注 意

●交換用のギザ刃は必ず指定のものを使用する。
本機をお買い上げの販売店で、おびまる用ギザ刃とご指定の上お買い求めください。

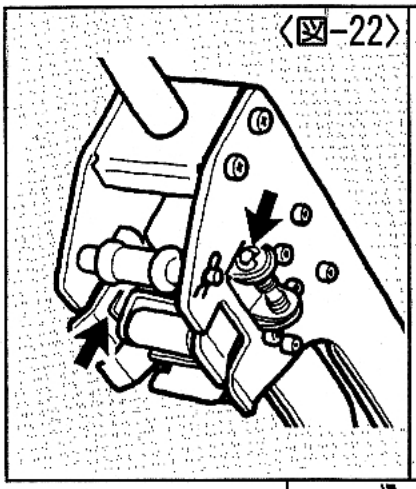
8 性能を維持するために

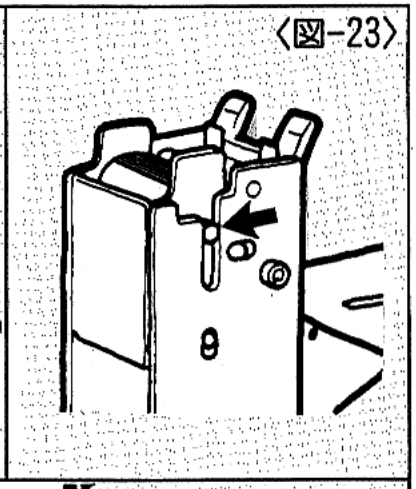
❶本機を必ず洗浄する。

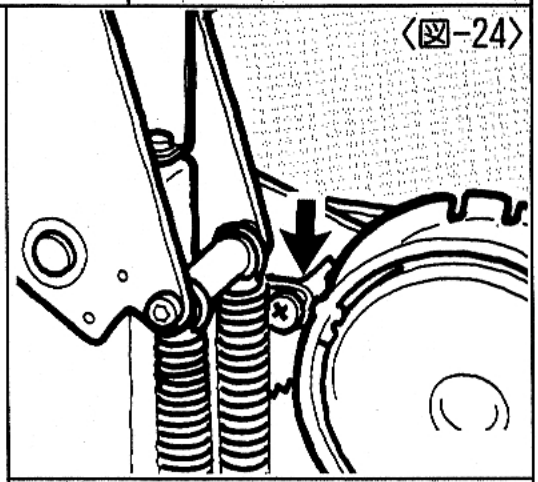
使用後、ヤサイクズやゴミ・ホコリを取り除き、乾いたタオル等でカラぶきしてください。

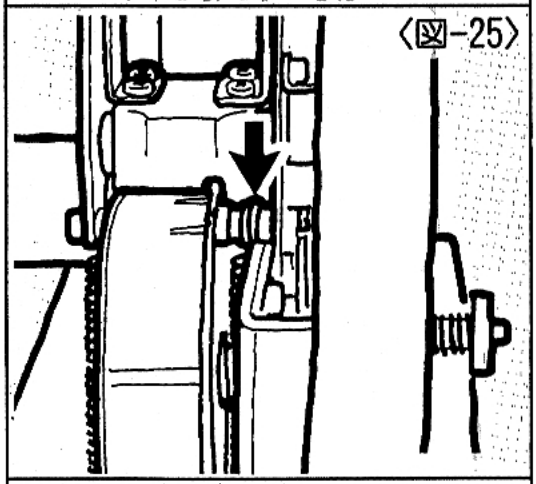
また、本機の性能を維持するために右図の矢印の場所に時々注油してください。なお、油はミシン油または軟らかめのグリスをお使いになり、流れたり、たれたりしないよう少量付けてください。

〈図-22〉〈図-23〉〈図-24〉〈図-25〉


〈図-22〉


〈図-23〉


〈図-24〉


〈図-25〉

❷指定の消耗品を必ず使用する。

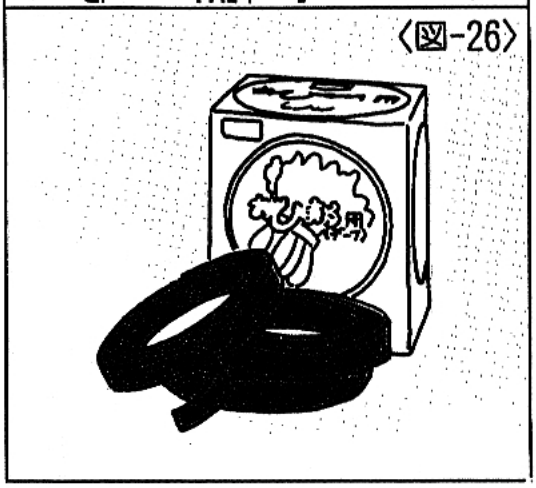
指定されたテープと異なるものを使用すると、本機の故障や事故の原因となりますので、必ず指定のテープをご使用ください。 〈図-26〉

❸定期的にギザ刃を交換する。

テープの切断面がきたなくなったり、切断しなくなりましたら新しいギザ刃と交換してください。

切れの悪いまま使用すると、機械に余分な負担がかかり、故障の原因となります。

※交換については14ページ「7.ギザ刃の交換」を参照してください。

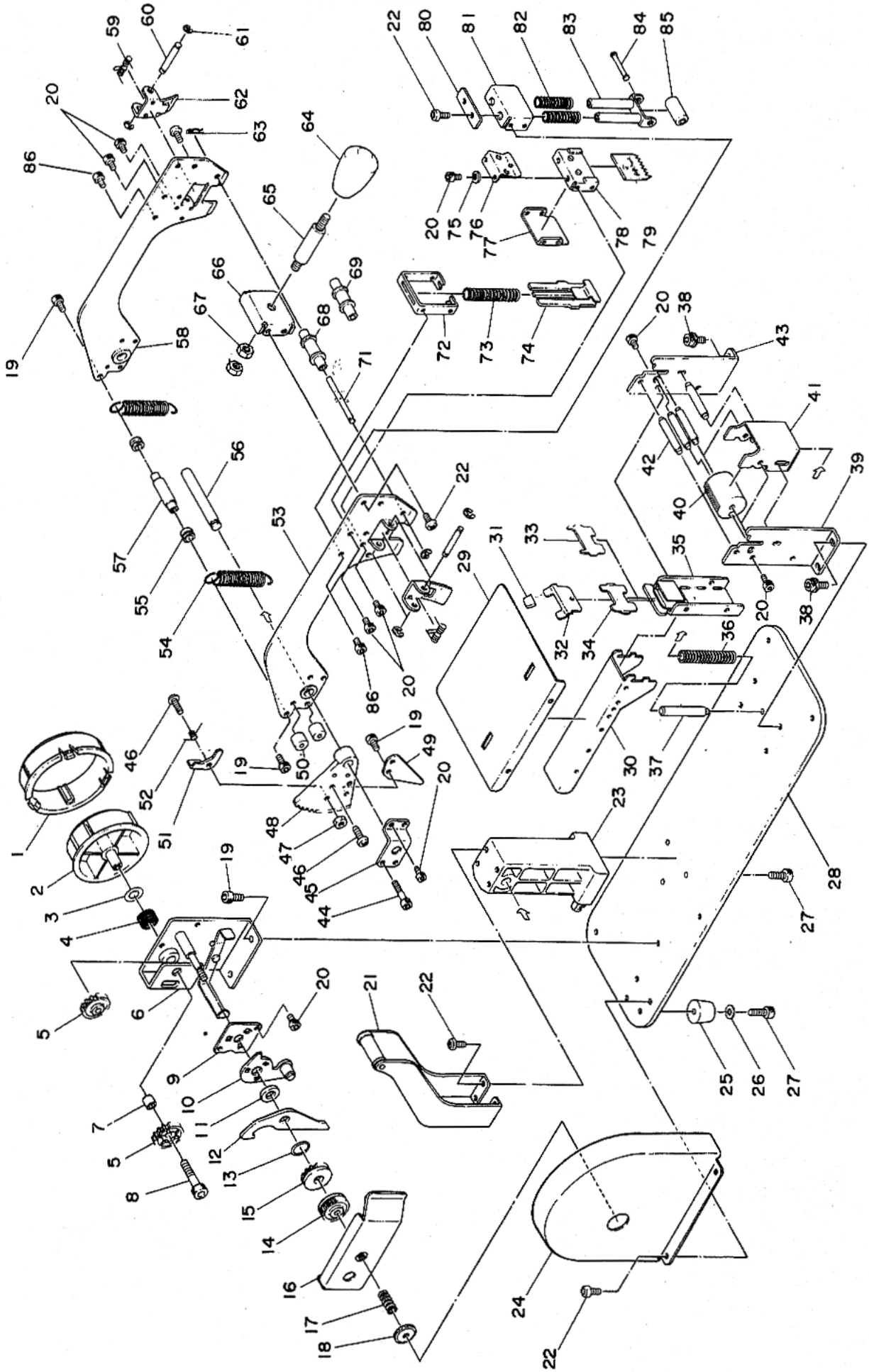

〈図-26〉

❹異常を感じたら絶対に使用しない。

本機の調子が悪かったり、異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。

異常のある場合は、無理に使用せず、お買い求めの販売店、またはマックスサービス㈱に点検・修理に出してください。

9 分解見取図・部品表



索引番号	商品記号	部品名	索引番号	商品記号	部品名	索引番号	商品記号	部品名
1	HT10400	ホイルアダプタ	30	HT10395	テーブル	59	KK34009	振りコイルバネ 4009
2	HT10460	テープホイル	31	HT10467	葉受キャップ	60	FF30260	平行ピン 260
3	EE39701	特平座金10.3	32	HT10431	葉受板	61	JJ10101	E トメワ 4
4	KK24017	圧縮バネ 4017	33	HT10339	テープ案内板 B	62	HT10361	バネ出シ板
5	HT10456	ピニオン A	34	HT10338	テープ案内板 A	63	FF60002	スナップピン 5
6	HT10443	ホイル台ユニット	35	HT10334	スタンドユニット	64	HT10365	グリップ
7	HT10459	ピニオンカラー	36	KK24013	圧縮バネ 4013	65	HT10367	グリップ軸
8	BB40438	六角穴付ボルト 6×32	37	HT10342	ガイド棒	66	HT10364	グリップ支エ板
9	HT10384	クラッチ固定板	38	BB49406	特六角穴付ボルト 5×10	67	CC41105	六角ナット 1-8
10	HT10449	クラッチ板ユニット	39	HT10332	スタンド L	68	HT10433	テープガイドローラA(20mm用)
11	HT10452	クラッチカラー	40	HT10341	ツカミローラ	69	HT10434	テープガイドローラB(12mm,15mm用)
12	HT10453	フックプレート	41	HT10340	ツカミローラ軸受	71	HT10436	テープガイドピン
13	HH11111	Oリング1種A P14	42	JJ45136	段付ピン 5136	72	HT10349	圧着板ガイド
14	HT10454	ピニオンA ユニット	43	HT10333	スタンド R	73	KK24012	圧縮バネ 4012
15	HT10457	ピニオンB ユニット	44	BB40451	六角穴付ボルト 4×22	74	HT10401	圧着板ユニット
16	HT10462	テンション解除板	45	HT10377	ギヤ固定板	75	EE11103	バネ座金 2-4
17	KK24014	圧縮バネ 4014	46	AA25202	+.バインド小ネジ 5×15	76	HT10353	カッタ板バネ
18	HT10393	調節ネジ	47	CC41101	六角ナット 1-5	77	HT10432	テープ押板
19	BB40415	六角穴付ボルト 5×10	48	HT10374	ギヤ	78	HT10351	カッタホルダユニット
20	BB40448	六角穴付ボルト 4×6	49	HT10376	クラッチ解除板	79	HT10474	ギザ刃
21	HT10437	サポート板ユニット	50	HT10373	カラー	80	HT10360	座板
22	AA21118	+.ナベ小ネジ 5×10	51	HT10442	ツメ	81	HT10359	軸受
23	HT10469	サポート	52	KK34010	振りコイルバネ 4010	82	KK24011	圧縮バネ 4011
24	HT10464	ギヤカバーユニット	53	HT10344	アームユニット L	83	HT10355	ローラ軸受ユニット
25	HT10394	足ゴム	54	KK14004	引張バネ 4004	84	HT10358	ローラピン
26	EE31102	平座金 1-5	55	HT10372	バネカラー	85	HT10116	ゴムローラ
27	BB40404	六角穴付ボルト 5×16	56	HT10370	アーム軸	86	BB40427	六角穴付ボルト 4×8
28	HT10468	ベースユニット	57	HT10371	バネ掛ピン	※	NC11551	テープガイドローラ(24mm用)
29	HT10463	テーブルプレート	58	HT10346	アームユニット R	※	NC11552	テープガイドローラ(30mm用)

※別売品

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

MAX®

マックス株式会社

本社・営業本部	〒103-8502 中央区日本橋箱崎町6－6	TEL(03)3669-8121(代)
東京支店	〒103-8502 中央区日本橋箱崎町6－6	TEL(03)3669-8118(代)
札幌支店	〒060-0041 札幌市中央区大通東6－12－8	TEL(011)261-7141(代)
仙台支店	〒984-0002 仙台市若林区卸町東2－1－29	TEL(022)236-4121(代)
名古屋支店	〒461-0025 名古屋市東区徳川1－11－23	TEL(052)935-8531(代)
大阪支店	〒553-0004 大阪市福島区玉川1－3－18	TEL(06)6444-2031(代)
広島支店	〒733-0035 広島市西区南観音7－11－24	TEL(082)291-6331(代)
福岡支店	〒812-0006 福岡市博多区上牟田1－5－1	TEL(092)411-5416(代)
盛岡営業所	〒020-0824 盛岡市東安庭2－10－3	TEL(019)621-3541(代)
宇都宮営業所	〒321-0933 宇都宮市簗瀬町2313	TEL(028)636-3012(代)
柏営業所	〒277-0871 柏市若柴297－12	TEL(0471)32-1500(代)
多摩営業所	〒190-0022 立川市錦町5－17－19	TEL(042)528-3051(代)
浜松営業所	〒433-8117 浜松市高丘東2－22－15	TEL(053)439-3300(代)
岐阜営業所	〒501-6016 羽島郡岐南町徳田4－274	TEL(058)276-6551(代)
泉南営業所	〒596-0825 岸和田市土生町2－30－39	TEL(0724)36-2211(代)
神戸営業所	〒658-0081 神戸市東灘区田中町3－3－3	TEL(078)412-6220(代)
南九州営業所	〒891-0115 鹿児島市東開町3－24	TEL(099)269-5347(代)
新潟マックス㈱	〒955-0081 三条市東裏館2－14－28	TEL(0256)34-2112(代)
水戸マックス㈱	〒310-0043 水戸市松ヶ丘2－3－27	TEL(029)255-3761(代)
群馬マックス㈱	〒379-2215 佐波郡赤堀町大字今井543－2	TEL(0270)62-1123(代)
埼玉マックス㈱	〒331-0044 大宮市日進町3－421	TEL(048)651-5341(代)
千葉マックス㈱	〒284-0001 四街道市大日1870－1	TEL(043)422-7400(代)
横浜マックス㈱	〒241-0822 横浜市旭区さちが丘7－6	TEL(045)364-5661(代)
長野マックス㈱	〒399-0033 松本市笹賀8155	TEL(0263)26-4377(代)
長野営業所	〒381-2247 長野市青木島1－35－1	TEL(0262)85-6740(代)
静岡マックス㈱	〒422-8036 静岡市敷地1－3－26	TEL(054)237-6116(代)
金沢マックス㈱	〒921-8061 金沢市森戸2－15	TEL(076)240-1871(代)
富山営業所	〒930-0827 富山市上飯野字樋向割10－8	TEL(0764)52-0182(代)
福井営業所	〒918-8237 福井市和田東2－1711	TEL(0776)27-3378(代)
京滋マックス㈱	〒612-8414 京都市伏見区竹田段ノ川原町9	TEL(075)645-5061(代)
兵庫マックス㈱	〒673-0404 三木市大村109－1	TEL(0794)83-2121(代)
岡山マックス㈱	〒700-0971 岡山市野田3－23－28	TEL(086)246-9516(代)
四国マックス㈱	〒761-8056 高松市上天神町761－3	TEL(087)866-5599(代)
徳島営業所	〒770-0866 徳島市末広1－4－25	TEL(0886)23-0286(代)
松山営業所	〒790-0951 松山市天山町28－1	TEL(089)913-0608(代)
マックスサービス㈱本社	〒330-0038 埼玉県大宮市宮原町2－99－5	TEL(048)667-6448(代)
マックスサービス㈱大阪	〒553-0004 大阪市福島区玉川1－3－18	TEL(06)6446-0815(代)
マックスサービス㈱名古屋	〒461-0025 名古屋市東区徳川1－11－23	TEL(052)935-8210(代)
マックスサービス㈱福岡	〒812-0006 福岡市博多区上牟田1－5－1	TEL(092)451-6430(代)
マックスサービス㈱広島	〒733-0035 広島市西区南観音7－11－24	TEL(082)291-5670(代)
マックスサービス㈱仙台	〒984-0002 仙台市若林区卸町東2－1－29	TEL(022)237-0778(代)
マックスサービス㈱札幌	〒060-0041 札幌市中央区大通東6－12－8	TEL(011)231-6487(代)

●マックスお客様ご相談ダイヤル(無料) 0120-22-8358
月～金曜日 午前9時～午後6時

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

G0402